



五島地協

第43号
2017年8月25日(金)

〒853-0033 五島市木場町 516-7
連合長崎五島地域協議会(五島地協)
発行責任者 高井良 芳行
TEL 0959-72-5749 FAX 0959-72-5749
sptr3t69@key.ocn.ne.jp

～五島から平和を考える～

「8・9下五島地区平和集会」を開催

8月9日(水)、「8・9下五島地区平和集会」を福江文化会館展示室で開催し、120名の組合員が参加した。集会冒頭、谷川議長は「今年には、被爆・戦後72年を迎え、改めて私たちに、各廃絶や戦後の平和と民主主義の内実が厳しく問われています。」

今年7月7日、核兵器の使用や保有、製造、威嚇などを法的に禁止する「核兵器禁止条約」が122の国と地域の賛成で採択されました。被爆者や被爆地が訴えてきた核兵器の非人道性がようやく世界の共通認識となり、核兵器廃絶への大きな一歩が記されたのです。しかし、交渉段階から参加しなかった日本政府は、条約に署名しないことをいち早く表明しました。唯一の戦争被爆国でありながら、アメリカをはじめ核保有国に追隨する姿勢に断固として抗議します。

平和と民主主義を守り、核兵器廃絶、被爆者への援護・連帯に向け一人ひとりが平和への意識を高め、二度と過ちを繰り返さないため、さらに運動を強化しましょう。」と訴えた。

来賓として山田県議、草野久幸市議からそれぞれご挨拶をいただいた。

今回、退職女子教職員の会の道下 敦さんをお招きし

「平和について考える」と題し講演を頂いた。道下さんは、自らの体験を講話。戦争のない平和な世界を訴えた。



2017平和行動 in 広島に参加して

連合長崎五島地協

事務局長 高井良芳行

8月4日から6日にかけての「2017平和行動 in 広島」に初めて参加しました。大変暑かったが原爆で亡くなられた方々のご冥福をお祈りし、平和を祈念できて大変良かったと思います。

8月5日は朝から夜までハードな1日でした。午前中は、「広島平和記念資料館」の見学であったが原爆の惨状や、落とされるまでの経過が良く理解できるよう展示され、現在の核兵器をめぐる世界の情勢を見て危機感を持ちました。昼からは、「ピースウォーク」があり、連合広島・青年女性委員会のメンバーが事前研修を積み重ねて、参加者に説明をしてくれ、とてもわかりやすく、充実したピースウォークでした。

その後16時30分から、上野学園ホールで開催された「連合2017平和ヒロシマ集会」に参加しました。集会の中でも広島県原爆被害者団体協議会の廣中正樹さんの被爆体験を聞き、原爆被害の悲惨さをあらためて感じました。

集会後、原爆ドーム前での連合「原爆死没者慰霊式」に参加し、長い1日を終えました。8月6日は連合が被爆50周年事業として広島市に寄贈した広島市立大学にある「長崎平和の鐘」の打鐘式に参加しました。広島市の平和記念式典に合わせて8時15分に打たれた平和の鐘の音色は核廃絶と世界の平和を願い、広島市の青い空にいつまでも響いていました。

